

大淀中学校便り

大阪市立大淀中学校
平成31年1月11日

■ 新年を迎える ■

新年、あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひします。

さて、1月7日(月)、始業式を行いました。新年を迎えるにあたり、始業式での校長先生の講話の内容をご紹介することで、ごあいさつにかえさせていただきたいと思います。



今日から3学期が始まります。また、平成最後の年の始まりでもあります。そして、4月30日に平成の区切りを迎えます。5月1日からは新しい元号になります。

今年の干支は「己亥（つちのとい）」です。「亥」は十二支では最後の年になります。来年は「子（ねずみ）」年から新しい十二支が始まります。平成31年は、いろいろな意味で、大きな節目の年になりそうです。

より身近な話をすると、3年生は8日(火)、9日(水)の2日間で最後の実力テストが行われます。1・2年生は10日(木)に大阪府チャレンジテストが行われます。これらも節目の1つです。

竹は節目があるから、しなやかで強いといわれます。

多くの節目を超えていくことで、人もより強く成長していくのではないかでしょうか。

さて、3学期は1年のまとめをする学期であるとともに、次の学年に向けての「0学期」でもあります。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といわれるよう、日が経つのがとても早く感じられる時期です。

仲間とのかけがえのない時間を大切に、今年度最後の学期を過ごしてください。

ちょっと豆知識

「己亥」の「己」を「つちのと」と読むのはなぜでしょうか。

その由来は、中国の春秋戦国時代にさかのぼります。そのころ生まれた陰陽五行説により、「木、火、土、金、水」の五行に、陰陽（陽=兄「え」、陰=弟「と」）を2つずつ配する考えによるものです。これが「えと」の由来です。これに十干の「甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸」をあてはめ、訓読みにして、五行と陰陽に対応させたのです。

- 甲 … 木の兄「きのえ」
- 乙 … 木の弟「きのと」
- 丙 … 火の兄「ひのえ」
- 丁 … 火の弟「ひのと」
- 戊 … 土の兄「つちのえ」
- 己 … 土の弟「つちのと」
- 庚 … 金の兄「かのえ」
- 辛 … 金の弟「かのと」
- 壬 … 水の兄「みずのえ」
- 癸 … 水の弟「みずのと」

■ 3年 実力テスト ■

1月8日(火)、9日(水)の2日間で、3年生の実力テストを行いました。これが最後の実力テストであり、3年間の集大成を問うテストでもあります。さらに、これから行われる入試を占うことにもなります。実力を存分に発揮することができたでしょうか。

さて、この実力テストの2日間と、これに先立つ始業式の日、校長先生と3年生所属の先生方が、私立高校に進路相談に出向きました。その結果を3年生に伝えるとともに、これから受験に向けて必要な書類を作成していくことになります。



私立入試は2月9日(土)です。10日(日)に面接などが行われる学校もあります。

また、私立入試の前に、学年末テストがあります。日程及び実施教科は以下の通りです。

1月28日(月) 国・数・美

1月29日(火) 理・英・技家

1月30日(水) 社・音・保体

入試当日まで、今まで以上に充実した取り組みの日々を送らなければならないのは言うまでもありません。しかし、それより以上に大切なのは体調を万全にすることです。心身ともに最高の状態で受験することができるよう心がけましょう。

■ 1・2年 チャレンジテスト ■

1月10日(木)、1・2年生のチャレンジテストを行いました。

結果の提供について

結果は、生徒一人ひとりに個人票で、3月中に提供され、以下の内容が記載される予定です。

①大阪府全体の得点ごとの生徒の割合

②問題形式別の個人の得点と

大阪府の平均点

③問題領域別の個人の得点と

大阪府の平均点

④問題ごとの個人の結果と

大阪府の正答率

調査書の評定について

チャレンジテスト実施教科については、各中学校が調査書に記載する第1、第2学年の評定は、大阪府教育委員会が提供する「評定の範囲」に示す得点の範囲内であることが必要です。「評定の範囲」とは、各中学校における生徒の評定が、妥当性・信頼性の高いものであるかどうかを判断し、選抜の公平性を担保するため、府内中学校の仮評定とチャレンジテストの結果から算出し、大阪府教育委員会が示す得点の範囲のことです。

※参考例

評定の範囲 (平成29年度) 第1学年 国語

| 評定5 | 評定4 | 評定3 | 評定2 | 評定1 |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 100点 | 90点 | 79点 | 60点 | 51点 |
| 85点 | 78点 | 68点 | 55点 | 45点 |
| 58点 | 44点 | 24点 | 8点 | 0点 |

上記は、昨年度の例です。第1学年の国語において「評定3」と評価されている生徒のチャレンジテストの得点が79点から24点の間にあれば、その生徒の評価は妥当かつ信頼できるものとされています。